





源氏物語 宇治十帖(三)

總角

八宮はちのみやの一周忌しゅうきがめぐつて来た。薫君かおるのみは仏前みようごうの名香なこうの飾りに託たくして、大君おおいきみへの想いを詠よんだ。

總角あけまきに長き契ちぎりを結びこめ

おなじ所によりもあはなむ

大君は父宮の教えに従い、自らは宇治の山住みで果てる意思が堅かたく、妹の中君なかのみをこそ薫君に委ゆたねたいと望のぞまれた。

薫君は中君と句宮こうのみやとが結ばれることによつて、大君の心を得えようとされたが、意外な結果に事が運ばれてしまう。

句宮は中君と結ばれたが、氣儘に行動され得ない御身分故、心ならずも宇治への訪れが遠のく。大君は「亡き人の御諫おんいさめはかかる事にこそ」と故宮をしのばれ、悲しみのあまり、病の床につき、薫君の手あつい看護かんごのもとに、冬、十一月に、薫君の胸に永遠の面影を残して、帰らぬ人となった。

平成十八年十月

(財) 宇治市文化財愛護協会

總角之古蹟

源氏物語云流石也

總角之古蹟



仙 徳 山
(大 吉 山)

そらみつ 倭の國 あおによし 奈良山越え
て 山代の 管木の原 ちはやぶる 宇治の渡
瀧つ屋の 阿後尼の原を 千歳に 関くる事
無く 萬歳に あり通はむと 山科の 石田の
社の すめ神に 幣帛取り向けて われは越
え行く 相坂山を

この歌の作者は未詳で、「大和の国の奈良山を
越え、山城の国の管木の原、宇治川の渡し場、
滝つ屋の阿後尼の原と続く道を、いつまでも欠
かさず、永久に通いたいと、山科の石田の神社
の神に幣帛を手向けて祈り私は越えて行く。相
坂山を」という意味である。

平成四年十月

宇治市

宇治上神社

世界文化遺産



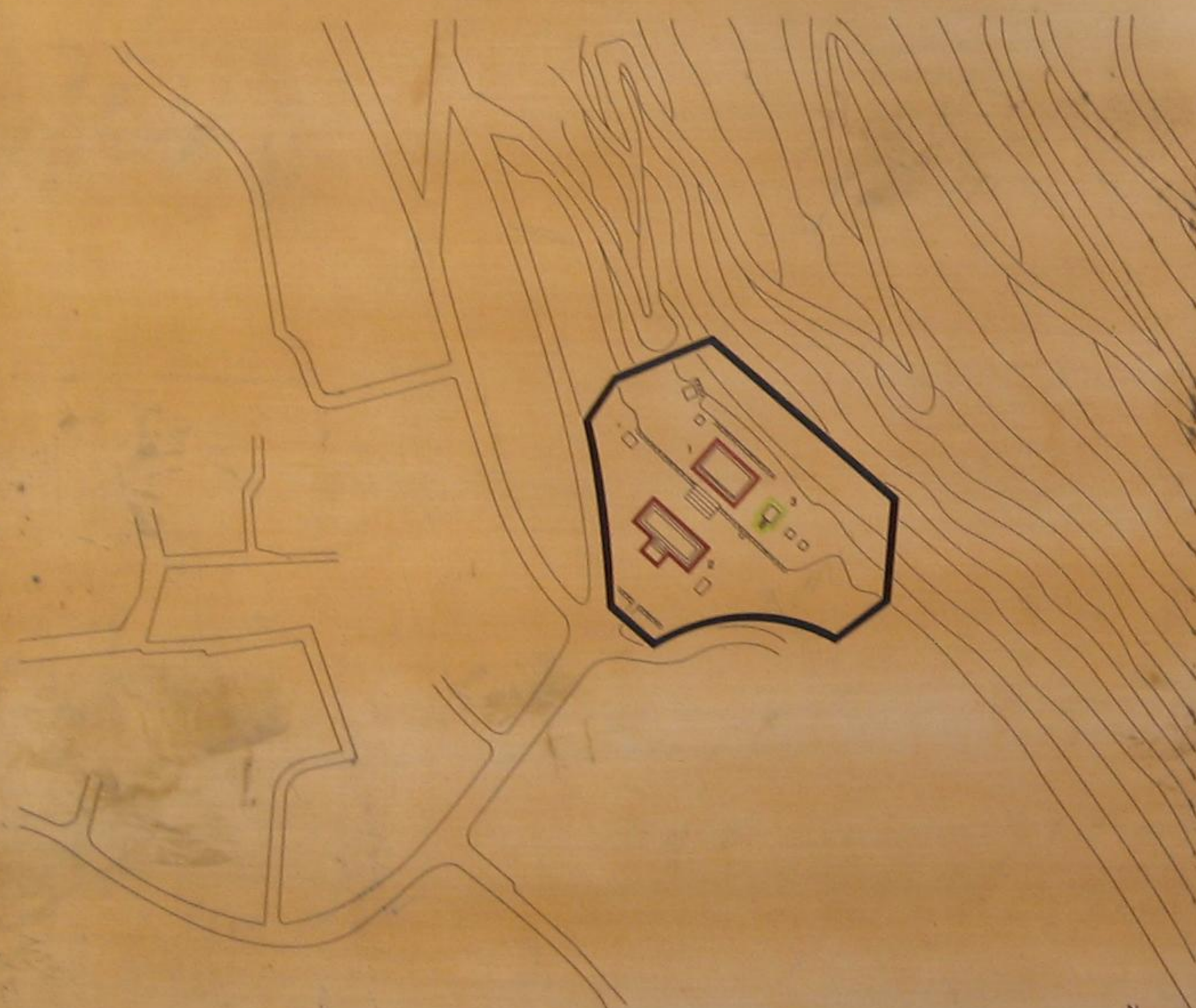
世界遺産「古都京都の文化財」

(京都市・宇治市・大津市)



World Cultural Heritage Sites Historic Monuments of Ancient Kyoto Kyoto City・Uji City・Otsu City.

宇治上神社配置図
Site Plan of Ujigami-jinja



0 40 80 M



国 宝
National Treasures

重要文化財
Important Cultural Properties

- 1 本殿 Honden
- 2 拝殿 Haiden
- 3 摂社春日神社本殿 Sessha Kasuga-jinja Honden

宇治上神社は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）で採択された世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約に基づき、「古都京都の文化財」のひとつとして世界遺産リストに登録されました。このことは、人類全体の利益のために保護する価値のある文化遺産として、とくに優れて普遍的価値をもっていることを国際的に認められたことになります。

宇治上神社の創建は古くさかのぼりますが、平安時代に平等院が建立されるとその鎮守社となり、その後、近在住民の崇敬を集めて、社殿が維持されてきました。

本殿は、正面一間の流造の内殿3棟を並立させ、それを流造の覆屋で覆った特殊な形式となっています。建立年代については、^{みぎ}簀股の意匠及び組物などの細部の特徴から平安時代の後期に造営されたものとみられ、現存する神社本殿としては最古の建築です。

また拝殿は鎌倉時代の初めに建てられたもので、現存する最古の拝殿です。意匠的には切妻造の母屋の左右に庇をつけた形であり、屋根はその部分が^{つば}縄破風となっていることなど住宅風となっている点に特色がみられます。

神のための本殿に対し、人の使う拝殿には住宅建築の様式が採用されることが多く、ここでは、拝殿が初めて建てられた頃の住宅建築の様式である寝殿造の軽快な手法が、鎌倉時代の再建にも受け継がれたと考えられます。

本殿の後方は広大な森林が広がっており、こうした環境は緩衝地帯の一部となっています。

登録年月日 平成6年(1994)12月15日決定、17日登録

宇 治 市

In conformity with the Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage adopted by the United Nations Educational, Scientific, and Cultural Organization (UNESCO), Ujigami Shrine is inscribed on the World Heritage List as a Historic Monument of Ancient Kyoto. It is thus internationally recognized as a place of exceptional and universal value: a cultural heritage site worthy of preservation for the benefit of all of mankind.

Ujigami Shrine has a long history. Designated a guardian shrine for Byodoin Temple during the Heian period, the shrine attracted worshippers among the local residents, and the shrine buildings were carefully maintained.

The *honden* (main shrine building) is of an unusual design: it consists of three inner shrine buildings built side-by-side in the *nagare-zukuri* or "flowing" style, each measuring one bay across, with a sweeping *nagare-zukuri* roof covering them all. Because of certain details of workmanship in the entablature and elsewhere, it is believed to have been constructed in the late Heian period, and is the oldest extant Shinto main shrine building.

The *haiden* (worship hall), built in the Kamakura period, is the oldest extant Shinto worship hall. It is distinguished by its residential-style design, with the narrow, roofed areas known as *hisashi* appended to the right and left of the *kirizuma*-style *moya* or inner area, with the *hisashi* roofs forming leaning gables (*sugaru hafu*).

In contrast to the *honden* or main hall, which enshrines the deity, the *haiden* or worship hall is intended for the use of human beings, and as such was often built in a residential style. It is believed that this *haiden* was built using the airy, buoyant techniques of the *shinden-zukuri* style of residential architecture current at the time of its original construction, and that those techniques were passed down in the reconstruction of the building carried out in the Kamakura period.

A broad tract of forested land extends to the rear of the main shrine building, so that the environment of the shrine forms a sort of buffer zone between unspoiled wilderness and human residential areas.

Date of Inscription Resolved on December 15 and inscribed on December 17, 1994.

Uji City

宇治市の史跡紹介 Historical Monuments of Uji City

宇治上神社

Ujigami Shrine

宇治上神社は、明治維新までは隣接する宇治神社と二社一体で、それぞれ、離宮上社、離宮下社と呼ばれていました。祭神は宇治神社の祭神でもある悲運の皇子菟道稚郎子うじのみけいらつこのほか、父の応神天皇おうじんと兄の仁徳天皇にんとくを祀っています。本殿は平安時代後期の、神社建築としては最古のものに属する建造物で、一間社流造いっけんしゃながれづくりの内殿三棟を左右一列に並べ、後世これらに共通の覆屋おおいやをかけたものです。また、その身舎みやの扉には、建立当時の絵画が遺のこされています。なお、境内に湧き出ている桐原水きりはらのみずは、宇治七名水の一つとされています。

Up to 1868, Ujigami Shrine was a part of the neighboring Uji Shrine where there were two main sanctuaries, one known as the Rikyu-Kami shrine and the other as the Rikyu-Shimo Shrine. The Ujigami Shrine is dedicated to Uji no Waki-iratsuko and to his father, the Emperor Ojin (late 4th to early 5th centuries) and older brother, the Legend has it



仮本殿



飯本殿

本殿
拝所
境内
御朱印
受付
時間
10:00~16:00
休
日
無
休
み
入
場
料
無
料
参
拝
料
無
料
御
朱
印
料
100
円
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す

本殿
拝所
境内
御朱印
受付
時間
10:00~16:00
休
日
無
休
み
入
場
料
無
料
参
拝
料
無
料
御
朱
印
料
100
円
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す

本殿
拝所
境内
御朱印
受付
時間
10:00~16:00
休
日
無
休
み
入
場
料
無
料
参
拝
料
無
料
御
朱
印
料
100
円
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す

本殿
拝所
境内
御朱印
受付
時間
10:00~16:00
休
日
無
休
み
入
場
料
無
料
参
拝
料
無
料
御
朱
印
料
100
円
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す
御
朱
印
の
代
金
は
本
殿
の
左
の
提
灯
に
入
れ
て
お
願
い
し
ま
す





宇治市名木百選

けやき

にれ科

高さ 27 m

幹周 4.8 m

推定樹齢 300 年

宇治市名木百選選定委員会

宇 治 市

昭和56年3月1日認定



きり

はら

すい

桐原水

『宇治七名水』の中、現存する
唯一の湧き水。

御手を清めてご参拝下さい
生水はお飲みいただけません。



国宝 拝殿

鎌倉時代

桁行六間

けたゆき

梁行三間

はりゆき

一重切妻造 兩妻一間庇付

檜皮葺

ひわだぶき

(寢殿造様式)

昭和二十七年十一月二十二日指定

明治四十四年 解体修理



